

— 「郡山市市民活動推進顕彰事業」 審査委員会委員 —

(敬称略・五十音順)

- 委員長 水野時子 (郡山女子大学短期大学部 家政科 准教授)  
 浅見公紀 (浪江焼麺太国 事務局長)  
 石塚通 (大槻探訪編集室 編集長)  
 キャメロン・ロイ・スチュアート (株式会社フリーコム 代表取締役)  
 鈴木雅之 (株式会社JTB東北 地域交流・MICE事業部 事業部長)  
 深谷祐次 (日本政策金融公庫 郡山支店 支店長)



平成28年度  
郡山市市民活動推進顕彰事業

「まちづくりハーモニー賞」



平成26年度、平成27年度 受賞団体

受賞 平成26年度

市民活動実践部門

- 「おにぎりプロジェクト委員会」
- 「郡山クリームボックス楽団」
- 「郡山グリーンカレー愛好会」
- 「笹川のあばれ地蔵保存会」
- 「多田野の鋤柄舞田植踊り保存会」
- 「朗読グループ ハイジ」

市民活動応援部門

- 「渡富建設株式会社」

青少年部門

- 「岩代國郡山うねめ太鼓保存会 小若組」
- 「郡山市立湖南小・中学校」

イベント部門

- 「海老根秋蛸実行委員会」

特別賞

- 「特定非営利活動法人移動保育プロジェクト」

受賞 平成27年度

市民活動実践部門

- 「郡山おもちゃの病院」
- 「郡山子ども文庫連絡協議会」
- 「緑ヶ丘西三丁目町内会」

市民活動応援部門

- 「有限会社安積精機工業」

青少年部門

- 「郡山市立桃見台小学校」
- 「郡山ジュニアフィルハーモニーオーケストラ」

「福島県立郡山商業高等学校」

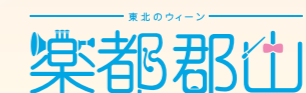
- 「文京学院大学 中山ゼミナール」

イベント部門

- 「三穂田町笹原川千本桜まつり実行委員会」

「まちづくりハーモニー賞」とは

市民の皆様が自主的、主体的に行う地域の特性を生かした創造性豊かな地域づくりや、多くの方に影響を与えることが期待できる波及効果のある市民活動など、優れた取り組みを行っている個人、団体、事業者を表彰することにより、協働のまちづくりを推進するものです。今年度は、「市民活動実践部門」、「市民活動応援部門」、「青少年部門」、「イベント部門」の4つの部門において優れた取り組みを実践している12団体が受賞されましたので、御紹介いたします。





# 受賞者紹介

(敬称略・五十音順)

## 市民活動実践部門 | 地域づくりやコミュニティ活動等、先進性・継続性のある市民活動の実践者

### あさかの 安積アルプス出逢いプロジェクト

安積アルプス<sup>(※)</sup>を軸とした観光づくりや新たな特産品開発などに取り組むため、平成28年に設立されました。

前身の「郡山逢瀬出逢いプロジェクト実行委員会」として、平成22年に「逢瀬」の地名を活かした婚活イベントを開催したことに始まり、逢瀬観光マップの制作や安積アルプス縦走トレッキングの開催など、地域の魅力の発信に貢献しています。

※安積アルプス…逢瀬町の西に連なる御壺櫃峠、大将旗山、額取山(安積山)の山並み。



安積アルプス  
縦走トレッキングの様子

### 郡山かたれやまんばの会

貴重な民話語りの文化を次世代に受け継ぐため、民話の普及や語り部の後継者育成を目的に、語り部教室の受講生が集まり、平成25年に10名で設立しました。

毎月、定期的な学習会のほか、市内の介護施設や保育所、小学校、各種団体、郡山駅構内「おばあちゃんの民話茶屋」<sup>(※)</sup>など、招きに応じてどこへでも訪問して民話語りのボランティア活動を行い、民話の伝承・伝達・普及に貢献しています。

※「おばあちゃんの民話茶屋」は平成28年10月末をもって閉店。



民話語りの様子  
(写真提供/福島民友新聞社)

### 郡山市民アマチュア無線実行委員会

アマチュア無線を活用した郡山市のPRを目的に平成25年に設立し、郡山市制施行90周年・合併50周年を記念した郡山のPR活動では、国内外の16,000局と交信を行いました。

また、郡山市と災害時の情報収集等に関する協定を締結し、防災訓練や大雨の際に情報収集活動に協力しているほか、災害時に携帯電話に代わる通信手段としてアマチュア無線を活用できるよう中継器を設置するなど、市民の安心・安全や防災に貢献しています。



活動の様子

### 柴宮第一自治会

昭和48年に自治会として設立され、自治会の目的でもある会員相互の親睦と明るく住みよい地域づくりの実践に努めています。

主な活動は、長きにわたり取り組んでいるふれあいを大切に2つの活動です。1つは、昭和63年から29年間にわたり発行し続けている会報「ふれあい柴宮」、もう1つは、平成2年から毎年実施している「ふれあい旅行」です。これらの活動を通じ、地域住民の連帯意識の醸成に貢献しています。



平成19年に制作した  
ふれあい柴宮100号記念誌

### 小学生の学びの場 キッズパーク

古典に親しみ、日本語や日本文化を学ぶことで、子どもたちに国際的に活躍することができる素養を身につけてほしいという思いで、平成26年から「古典探検隊」を実施しています。

古典探検隊は、毎月1回、主に祝日に開催し、祝日の意味を学んだり、古典や論語などの素読をしたりする学びの場です。平成28年には小学生百人一首大会も開催し、子どもたちの学習機会の拡大に貢献しています。



古典探検隊の様子

### 商店街きらめき21研究会

商店街の活性化や中心市街地の空洞化の解消などを目的に、平成13年に中心市街地の若手商業者が集まり結成しました。

小学校などへ訪問し、子どもたちに商店街の仕事を体験してもらう出前講座の開催や、商店街の魅力や役割を伝えるヒーロー「商店ガイレンジャー」の小冊子・映画の制作など、中心市街地の交流人口拡大に向けたイベントの企画・運営・協力に取り組み、商店街の魅力の発信に貢献しています。



中心市街地の  
若手商業者で結成

## 市民活動応援部門 | 市民活動の推進に寄与する支援活動を行った個人、団体、事業所

### J A 福島さくら郡山地区<sup>かき</sup>花卉部会中田支部

昭和45年に、福島県<sup>かき</sup>「花木団地産地育成事業」により、中田町高倉に出荷用の花卉を栽培する「花木団地」を整備しました。現在では花の名所として多くの観光客も訪れています。

ふくしまデスティネーションキャンペーン(DC)の実施にあたり、JR東日本や市観光協会とも連携し、平成26年のプレDCから3年にわたり、郡山駅構内に花木団地の桜ほか十数種類の花のおもてなし装飾を行うなど、DCを支援し、観光の振興に貢献しています。



郡山駅の花のおもてなし装飾

## 青少年部門 | 地域づくりやコミュニティ活動等、先進性・継続性のある市民活動を行った青少年

### ふっこう こおりやま福来応援隊

「ぼくたちからはじめよう」を合言葉に、自分たちでできる復興や発信に取り組もうと、平成26年に当時小学5年生の3人が発起人となり設立されました。小中学生の隊員と保護者・支援者で構成されています。

ご当地グルメの研究や販売を行う「おんぶちゃん食堂」や、地元のクリエイターの協力によるふるさと応援CMの撮影、中田町や逢瀬町の農家で行った農業体験など、地域や社会とつながる活動により、地域の活性化に貢献しています。



ふるさと応援CMの撮影

### 帝京安積高等学校 和太鼓部

高校の部活動として、活動発表の経験を通して地域の方々への感謝を伝えるとともに、次代を担う意識をもった人格形成のため、平成12年から、各種大会への出場のほか、地域や企業からの依頼に応じ、和太鼓の演奏を披露する活動に取り組んでいます。

部員はほぼ全員が、入学後に初めて太鼓に触れますが、上級生から下級生への伝承という形で曲の修練に励み、地域に愛される部活動として貢献しています。



演奏の様子

## イベント部門 | 多くの市民が来場し、まちの活力や魅力の創出に貢献するイベント

### 開成商工振興会

地域文化の振興や地元商店士との連携意識の高揚を図るため、盆踊り保存会と連携し、平成12年から、毎年8月15日・16日に、道因寺境内で開成夏祭りを開催しています。

金魚すくいなどの模擬店のほか、平和豊年盆踊り大会や盆踊り太鼓の体験講習などを実施し、2日間で約500人が訪れます。お年寄りから子どもまで楽しめるお盆の恒例行事として地元で定着するとともに、地域の活性化に貢献しています。



開成夏祭りの様子

### こまや 駒屋青年団

郡山市消防団三穂田地区隊第3分団第2班(旧駒屋班)が主体となって構成され、地域の活性化や地区の行事の継承のため、昭和60年から、三穂田町駒屋地区で行われている八幡神社秋季例大祭において唐傘行灯花火を実施しています。また、踊りの太鼓たたきなども行っています。

駒屋地区の唐傘行灯花火は、地域に根差したイベントとして30年以上にわたって続いているもので、近年は観光客も増え、地域の活性化に貢献しています。



駒屋の唐傘行灯花火

### はぎひめ 萩姫まつり50周年記念班

「萩姫伝説」にちなみ、昭和41年から毎年開催されている萩姫まつりの50周年記念プロジェクトとして、復興支援への感謝を伝えるとともに、郡山市や磐梯熱海のPRを行うため、「萩姫が歩いた道程をゆく」を実施しました。

京都から磐梯熱海温泉までの約750kmの道のりを、ミス萩姫と熱海地区の団体青年部が3ヶ月間にわたり徒歩や自転車で行脚し、各地の住民と交流を深めるなど、地域の魅力の発信に貢献しています。



京都から磐梯熱海温泉まで行脚